

近年、国際的な船舶の排出ガス規制の強化が進展し、排出ガスのクリーンなLNG(液化天然ガス)を燃料とする船舶の増大が見込まれている。

我が国は、世界最大のLNG輸入国であり、既存のLNG基地が多数立地していることから、シンガポールと連携しつつ、アジアに おけるLNGバンカリング拠点を我が国港湾に戦略的に形成する。これにより、我が国港湾へのコンテナ・クルーズ等航路を維持・ 拡大し、我が国経済の国際競争力の強化を図る。



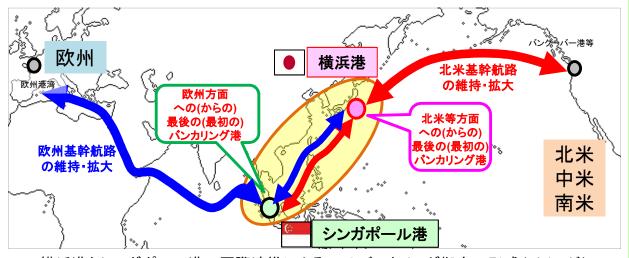
国際的な船舶からの排出ガス規制 (2020年より、一般海域においてもSOx(硫黄酸化物)の規制強化が開始)



船舶用燃料の石炭から重油以来の大転換



燃料供給イメージ (荷役と並行して燃料供給が可能)

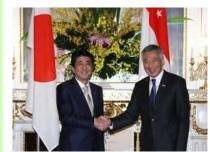


横浜港とシンガポール港の国際連携によるLNGバンカリング拠点の形成(イメージ)

LNGバンカリングを巡るトピックス

【日・シンガポール首脳会談】

LNGバンカリング拠点の整備 に向けた両国間の協力を推進。



平成28年9月28日(水)日・星首脳会談

【国際MOU(覚書)の締結】

LNGバンカリング推進に向けて7カ国 8者の港湾当局間で覚書を締結。



平成28年10月5日(水)覚書署名